

目標達成計画

事業所名 グループホームよしおか

作成日： 令和 4年 4月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4、11	コロナ禍にて社会の状況を鑑みながら、運営推進会議については市ご担当者様と相談しながら、この2年開催を中止とさせて頂きました。中止の為、ホームの取り組みや運営状況について簡単な報告ではありますが、定期的に行ってましたが、ホームの一方通行的な報告になってしまっている。第3者の視点からの意見などが反映されていない。	社会全体のコロナに対しての取り計らいも変化している中、可能であれば、少人数での開催。もしくは、電話など活用した意見交換を状況を見ながら行い、運営推進会議を可能な範囲で開催する。	市担当者、地域包括センター、民生委員会、ご家族様代表にて本来行うが、人数を制限したホームでの開催。出席されない方の意見など事前に聴取し少人数での検討を行い、ホームの取り組みに反映させる。	12ヶ月
2	13	ご家族様来所時など、管理者以外の職員から親の状況報告が聞きたいとの要望もありました。常勤職員であれば健康状態や日々のご様子などご報告できますが、非常勤職員や新しい職員もいる為、ご家族様に対して限られた職員での報告しかできていない。	常勤・非常勤問わずご家族様来所持に報告ができるように情報の周知を行いたい。	管理者からご家族様にあてた手紙や訪問診療時の診察内容など健康状態についても深く理解して頂く必要がある。職員自体のスキルアップをはかり広い視野で物事が見れるように指導・教育をはかる。	12ヶ月
3	48、49	コロナ感染が懸念されることもあり、定期的な外出行事が難しくなりました。中でも、加齢により車椅子の方が増えた事もあって、外出が難しくなってきた。また、楽しみにおいてもボランティアさんの受け入れも制限してきた為、個々における生活の楽しみも半減した。外出ができなくとも気軽に外で楽しめる環境を整備しADL維持につなげたい。	ボランティアさんの受け入れ再開。年に2～3回でも受け入れていく。また、敷地内の庭を整備して散歩できるようにする。花など楽しみながら車椅子の方も庭で過ごせるようにする。	以前より付き合いのあるボランティアさんをお願いして、定期的な音楽会など再開。脚力の低下にて散歩も難しくなった方の為に庭を改修して楽しめる庭を作る。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月